

### 病後児保育への

### 取組みについて

病後児保育事業を提案・質問致しました。市は子どもの急変時対応が懸念されるとして、消極的でした。共働きやひとり親家庭への支援に不可欠な事業であることは認識しており、今後、病院併設型の病後児保育事業が検討されることになりました。

次に、公共施設における、ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症予防策を質問。今後、施設清掃時に次亜塩素酸による消毒を取り入れることや、手洗いの石鹸を固形から液体に変更することが検討されることになりました。

### 福祉のまちづくり条例の

### 制定について

質 福祉のまちづくり条例制定の進捗状況について

答 市民自治推進委員会に条例の基本理念・推進施策・市民の役割などについて検討を依頼していたが、11月28日に同委員会から同条例の骨子案が提出されたので、今後はパブリックコメントを通じ、市民の意見を取り入れながら、来年の第一回市議会定例会を目標に条例案を提出したい。

### 生活保護の申請について

質 本市において生活保護申請の割合が低い要因はどこにあるのか。

答 申請件数の割合は平成17年度は28%、18年度は18.6%となっている。申請件数は景気の動向等により影響され年度間で変動がある。

相談には、資産の活用をされていない人、生活に不安を感じている人、生活保護制度について説明を受けたい人など、申請につながる相談もあることから、相談件数と申請件数との割合を比較することは意味がない。



## 議会改革の継続

### 4小委員会が活発化

#### ◎これまでの対応

登別市議会における議会改革に関しては、分権時代の改革への流れが加速する中、ここ数年、積極的な対応が行われてきました。

特に、この数年間の取り組みでは、平成18年に設置された「改革検討会議」と「改革推進委員会」において、より具体的な提案が示され、昨年度は、その実行年として、「定例会回数の削減」「常任委員会の活性化」や「議会フォーラムの開催」などを行っており、この取り組みは、議会改革先進地として、全国的にも注目されています。

#### ◎現在の取り組み

これらの議会改革は、今後においても、住民自治を確立する上で議決機関として、地方議会の果たす役割と責任が益々重要視されていることから、引き続き検討が必要であります。昨年9月、議長より議会運営委員会に「議会改革推進について」の諮問があり、現在、4小委員会を立ち上げ、積極的な検討がすすめられています。

- 一、本会議中継について
- 二、常任委員会及び特別委員会のあり方について
- 三、議会基本条例の制定について
- 四、議決権の拡大について

であり、全議員がそれぞれ小委員会に所属し、活発に議論が展開されています。

今後は、「市民との協働」の視点から、市民の皆さんの意見が反映された議会運営となるよう、意見交換会なども予定しておりますので、ご参加・ご協力をお願い致します。